

第 27 回参院選 **福士ますみ**さんを公認候補予定者に決定！

今夏の参院選は7月3日公示、7月20日投開票が想定されていますが、立憲民主党青森県連合会は2月18日の常任幹事会で本県選挙区（改選1）に元民放アナウンサーで自営業の福士珠美（ますみ）氏（59歳）を公認内定しました。

福士氏は「身の引き締まる思い。選挙初挑戦で、手探り状態でのスタートになるが、精いっぱい、ご期待に沿うよう頑張りたい」と意気込みを述べました。福士氏は常任幹事会前に、田名部匡代県連代表と党本部を訪れ、大串博志選挙対策委員長と面会、大串氏からは激励を受けたということです。

終了後の取材に田名部代表は「さまざまな現場で取材してきた経験や、起業する行動力、地域に着目した仕事ぶりを政治に生かせば、地域を元気にする原動力になると思う。全力で活動していきたい」と

話し、小川淳也党幹事長は同日の会見で「一定の経験、知名度があり、大きな期待を寄せている。党としても全面的なバックアップ体制を早急に整えたい」と話したということです。

その後、福士氏は3月29日に青森市で出馬会見を開催、知名度不足の懸念もあるが「政治経験がないからこそ、生活者の視点で物事を捉え、国民感覚とかけ離れた政治に物申すことができる」と自民現職との違いを強調。「県内の中小企業が稼げるようになる支援を訴えていきたい」と意気込みを語りました。

なお、本県選挙区（定数1）への立候補を表明しているのは他には現時点で自民党現職の滝沢求氏（66歳）、共産党新人の荻野優子氏（33歳）の合計3人です。

◆福士ますみさんの略歴◆

生年月日	1965年3月24日
出身	青森県五所川原市金木町
経歴等	株式会社青森テレビ(ATV)アナウンサー 株式会社BLUE LINK PROJECT代表取締役 津軽海峡マグロ女子会メンバー
学歴	東北町立寒水小学校（現東北小学校） 平内町立小湊中学校 青森県立青森高等学校（33回生） 日本大学法学部新聞学科（牧田ゼミ）

社民党青森県連、福士さんと政策協定！ 全力で支援することを確認しました

立憲民主党の公認候補として立候補する予定の福士珠美さんが、社民党青森県連合と3月25日に政策協定を結びました。合意した政策は●再生エネルギーの促進を図り脱原発の実現を目指して「核のゴミ捨て場」化を阻止する●憲法違反である安保法制廃止と閣議決定の撤回●医療、介護、福祉の充実一など5項目。

3月25日に青森市内で開かれた政策協定の締結式で、今村代表は「昨年の衆院選では自公政権を過半数割れに追い込んだ。今夏の参院選は政権交代へと続く、大きな山となる」と強調しました。これに対し、福士氏は「選挙協力をいただき大変心強い。国民の生活を見てない自民政治にノーを突き詰めるために、一緒に走っていきたい」と決意を述べました。



福士ますみ予定候補

政策協定を締結し、握手を交わす福士珠美氏と今村修代表



「平成の大合併」から今年でちょうど 20 年 人口激減と高齢化で観光資源が次々と“廃止”その功罪は？

旧町村部の衰退が顕著



第1部⑥むつ市



市は鰯の里など老朽化が進んだ公共施設の再編で生じるヒト・モノ・カネを、脇野沢の新たな「夢」に振り向ける構想を描く。その柱が流通センターのリニューアルだ。協議会の意見をできるだけ反映させ、住民にも使い勝手の良いにぎわい拠点の整備を目指す。

下北半島の中核都市・むつ市は、川内、大畑、脇野沢の3町村と合併した2005年3月時点で人口減少局面に突入していた。合併後、その流れはむしろ加速している。05年1月末と25年1月末の住民基本台帳人口を比較すると、市の人口は5万1495人で1万6653人（24・44%）減った。ただ旧3町村の減少率は大畑40・92%、川内45・88%、脇野沢52・29%と市全体を大きく上回る。

「合併して良かったと言えることは一つもない」。合併時の脇野沢村長・山崎隆一さん（85）は取材に対し、きつぱりと話す。1990年の村長就任当時3千人以上いた人口は1200人を切った。2023年3月には青森市と結んでいた航路が廃止となり、ガソリンスタンドも姿を消した。通院、買い物など暮らした不便は増すばかり。川内町長だった菊池繁安さん（16年死去）から「（2町村の）小さい合併にしておけば良かった」と言われたこともあった」と明かす。

市は本年度、村時代に建設し、道の駅として使う「リフレッシュセンター 鰯の里」のほか、鰯島の館、斎場、観光遊覧船「夢の平成号」の廃止方針を示した。山崎氏はさらに嘆く。「あれもこれもなくなると。両手をもがれる気持ちだ」。

18日夜、脇野沢地域交流センターに地区住民15人の声が飛び交った。「何より24時間使える清潔なトイレが必要」「憩いの場所として昼の部屋」「宅配便を扱ってほしい。ATMも」。市がリニューアルを計画する脇野沢流通センターの機能について意見を出し合う「わきのさわ夢プロジェクト推進協議会」の1つだった。

地域活性化へ住民動く

昔から漁業が盛んで「イカの町」と呼ばれた大畑地区。中心商店街に閉めた店が目立ち始めたことに危機感を抱き、ハマから街を盛り上げよう」と有志約20人が海峡ロデオ大畑を設立した。網起こし体験ツアーを皮切りに、昼市、夕市、サクラマス釣り大会などの企画に取り組んできた。定置網漁業を営む会長の佐藤敏美さん（48）は活動の中で合併効果を感じると言う。「大畑の何倍もの人がむつ市にはいる。イベントに来てくれるし、むつの方に呼んでもらえるようになった。人との出会いが多くなったことが一番の財産」と話す。

こうした活動を市は財政面で支援するほか、川内地区に4人配置する地域おこし協力隊を大畑地区と脇野沢地区にも置く方針だ。

佐藤さんはコロナ禍で休止した網起こし体験を今秋にも復活させたいと意欲を燃やす。「大畑の中ではロデオを知らない人はいないぐらいになってきた。でも勝負はこれから。何とかにぎわいを取り戻したい」。

（熊谷慎吉、山内はるみ、川越真也）

第1部終わり

3/21 東奥日報

平成の大合併には、住民サービスの低下や地域の歴史・文化の喪失など、次のようなマイナス面がありました。

- ・住民の声が届きにくくなる
- ・行政サービスの低下、住民負担の増加
- ・地域の歴史・文化・伝統の喪失
- ・地域間の格差の拡大
- ・過疎化・地域の高齢化や限界集落の発生

その背景には自治体職員や議員の定数削減による人件費抑制、業務・施設の外部委託などにより、財政課題はある程度改善されたが、住民や職員の目から見るとさまざまなマイナス面が挙げられます。財政規模は縮小され、効率化の果実がないままに、全体が縮小されたとの指摘が多くの該当する旧自治体から提起されているのが実態です。



市職員らとともに流通センターに必要な機能について意見を出し合う協議会メンバー＝18日夜

第 40 回 4・9 反核燃の日全国集会に 470 人！

1985年4月9日、当時の北村正哉青森県知事が「むつ小川原巨大開発」の失敗を覆い隠すため、核燃サイクル3点セット（ウラン濃縮工場、再処理工場、低レベル放射性廃棄物埋設施設）の受け入れを決めました。以来、私たちは同施設に反対する姿勢を広く県内外に示すために、この日を『反核燃の日』と位置付け、4月9日の近辺の土曜日に全国の仲間へ呼びかけて集会を実施してきました。

あれから 40 年の節目となる今年は 4 月 5 日（土）、青森市文化会館に 470 名の仲間が全国から参加し、開催されました。集会終了後は青森市内をデモ行進し核燃サイクル計画の断念を市民に訴えました。

また、翌6日には六ヶ所村現地で県内外から約 70 名が参加し、再処理工場門前抗議行動や村内目抜き通りをデモ行進しました。



→ 6日 再処理工場前集会
← 5日 全国集会(青森市内)



大間、風間浦に続き、東通村長選挙でも現職の畑中稔朗氏再選！

任期満了に伴う東通村長選挙は 3 月 23 日行われ、即日開票の結果、現職の畑中稔朗氏（62 歳）が 2,318 票を獲得し、前村議で新人の奥島貞一氏を 854 票差で破り、再選を果たしました。投票率は 78・27%で前回は 1.59 ポイント上回りました。

畑中氏は円卓会議で直接住民に聞いた声を施策に反映してきた成果を強調、一方、奥島氏は現職候補がむつ市居住であることを踏まえ、村民よる村づくりを訴えながら現村政への批判票の取り込みを図りましたが支持が広がりませんでした。



東通村長選で再選を果たした畑中稔朗氏(62)は23日、村内の事務所で報道陣の取材に応じ、「1期目の継続をふれずに進める」と語った。主なやりとりは次の通り。

【1期に本記】

―選挙戦を振り返って。

争点、論点が分からない選挙だったが、自分たちの選挙をしようと、政策を練り、臨めたのが良かった。

―票数の受け止めは。

支持する人もあれば、しなかった人もいる。2期目は、理解を得るというより、きちんと説明することに重点を置いていきたい。

―2期目に取り組みたい。

ことは、あくまでも1期目の継続。漁業振興では、漁獲が減る中で、なりわいとしての漁業をどうするか考えていく。漁業で生活できれば、人口減や少子化に歯止めが掛かる。一つに特化した政策ではなく、効果的に政策をつなげていく。

「1期目の継続、ぶれずに」

東通村長選再選の畑中氏

報道陣のインタビューに答える畑中稔朗氏

―目指す村の姿は、
住んで良かったと思える
村をつくることが一番大
切。そのために必要な政策
を行っていく。

―村議の支持が割れる激
しい選挙だった。

村議の数が村の将来を左
右するものではない。目的
は同じで方法論や過程が異
なるだけだ。

開票結果 選管最終、敬称略

当2,318 畑中 稔朗⁶² 無現
1,464 奥島 貞一⁶⁹ 無新
▷有権者数 4,855人 ▷投票率 78.27%



◀◀◀よみがえる徴兵制▶▶▶

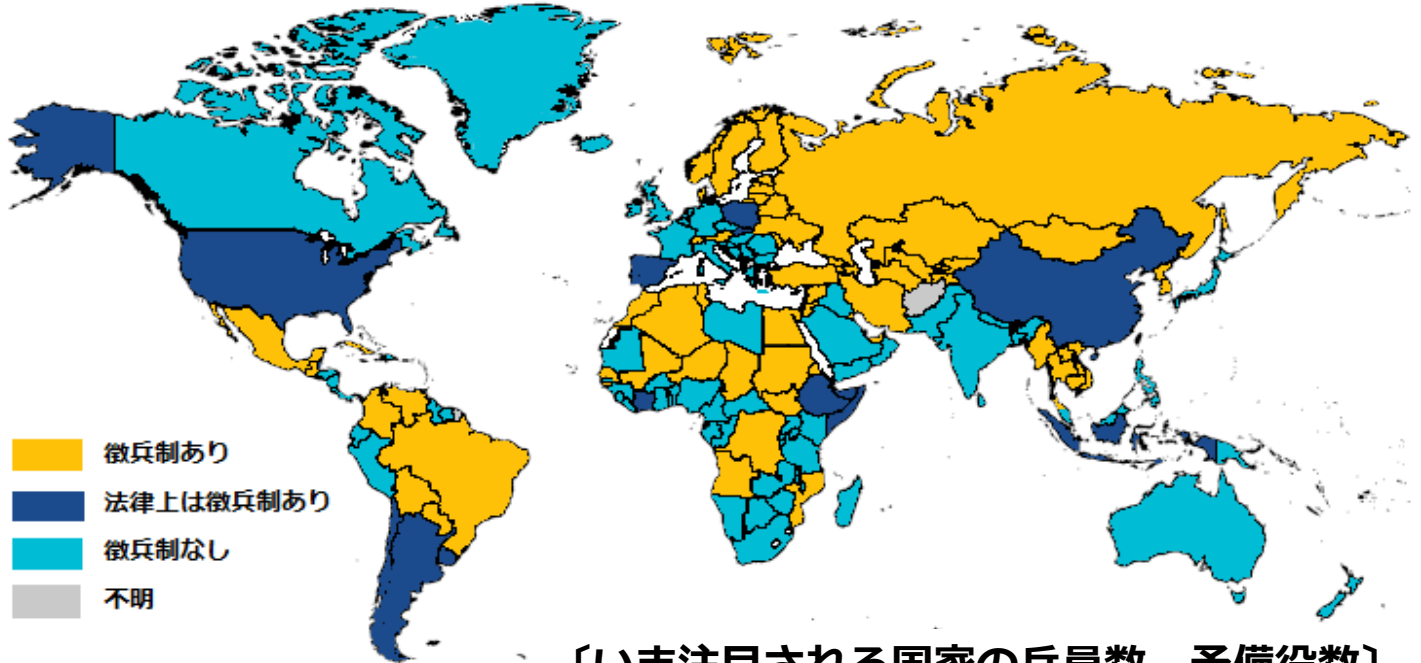
先日、朝日新聞 GLOBE が世界の徴兵制度を特集しました。

ロシアによるウクライナ侵攻以来、徴兵制がじわりと広がっています。世界ではソ連崩壊後に減少傾向にありましたが、休止していた制度の復活や対象者拡大が進んでいます。国際情勢が不安定になるに

つれ、風向きが変わり、時代の進化に伴い徴兵制度自体も変化している模様です。第二次世界大戦終結から 80 年、徴兵制を通して、戦争の本質と命の重さについてあらためて考えてみる機会にしませんか。

記事は朝日新聞と大阪大学を拠点とするメディア研究機関 GNV のサイトから引用しました。

〔世界の徴兵制〕



〔いま注目される国家の兵員数、予備役数〕

主な国の徴兵制度		
	男性	女性
イスラエル	約 3 年	約 2 年
ノルウェー	約 1 年	
スウェーデン	1 年弱	
ロシア	約 1 年	なし
韓国	2 年弱	なし
北朝鮮	約 10 年	約 7 年

国 名	人 口	兵 員 数	予備役数
中国	142,399 万人	203.5 万人	51.0 万人
米国	34,196 万人	131.6 万人	79.7 万人
ロシア	14,082 万人	113.4 万人	150.0 万人
日本	12,320 万人	24.7 万人	5.6 万人
韓国	5,208 万人	50 万人	310.0 万人
ウクライナ	3,566 万人	73 万人	0 万人
イスラエル	940 万人	17 万人	46.5 万人

〔現代の徴兵制〕

2024 年 9 月現在、義務兵役を採用している国は 68 か国、法律上義務兵役を採用している国は 17 か国、兵役を導入していない国は 93 か国ある。その他、法律上認められているものの、実施レベルが不明な国・地域や、そもそも軍隊が存在しない国もある。その様々な制度を、義務、年齢、性別、徴兵免除の仕組みに分けて比較していく。

前述したように、兵役は国によっては義務の場合も志願制の場合もある。義務制の中には抽選制を

採用している国もあり、例としてタイなどが挙げられる。タイでは毎年 4 月に 21 歳の男性に徴兵検査が義務付けられており、合格した者はくじ引きに参加する。赤いカードを引いた場合は最長 2 年間の兵役を課され、黒いカードを引いた場合は兵役が免除される。

またラトビアは、2022 年に始まったロシアによるウクライナ侵攻を受けて、兵士の不足などの理由により 2023 年から徴兵制を復活させた。制度はまだ未確定の部分も

多いが、2024 年 1 月の徴兵では、抽選制が用いられた。抽選はコンピュータプログラムを用いて無作為に行われ、その様子が生中継されたという。

兵役の対象となる人々の年齢も国によって異なる。年齢下限を 18 歳とする国が多いが、エリトリアでは 16 歳以上が徴兵の対象となっており、学生たちが強制的に兵役に従事させられている。年齢上限は国によって様々であり、ウクライナは 2022 年に始まったロシアに

よる侵攻を受けて、18歳から60歳までの男性に軍への登録を義務付けており、出国を禁止している。一方ロシアでは、これまで18歳から27歳の男性に1年間の義務兵役が課されていたが、2024年から徴兵年齢の上限が30歳に引き上げられた。ロシア政府は徴兵通知を受け取った人が国外に行くことを禁止している。

近年は女性を徴兵対象とする国も存在する。男女ともに義務兵役の対象とする国には、ノルウェー、スウェーデン、デンマークなどの北欧諸国と、エリトリア、イスラエル、モザンビーク、北朝鮮、ミャンマーなどが挙げられる。世界で最初に女性の徴兵を始めたのは北朝鮮であるが、男女ともに同条件の兵役が課されるわけではなく、男性は11年、女性は6から7年の兵役が義務化されている。男女に同条件の兵役を課す国は、ノルウェーとスウェーデンのみである。

現在は男性のみの義務だが、女性の義務兵役の導入を検討している国もある。例として韓国では、人口減少や男性の不満を理由に女性の兵役義務導入を求める世論が広がっているという。

また、徴兵免除の仕組みも国によって異なる。徴兵免除は、ある一定の基準を満たした者が徴兵を免除される制度であり、基準は健康状態や進学など様々である。例としてイスラエルでは、男女ともに兵役義務があるが、女性は信仰、妊娠や結婚によって徴兵免除となる。また超正統派ユダヤ教徒は徴兵を免除されていたが、2023年からのガザでの武力行使の長期化とレバノンのヒズボラとの武力紛争が激化する可能性を受けて、最高裁判所は2024年6月に徴兵免除を撤廃する判決を下した。

またエジプトでは、国外に住んでいるエジプト人は、7,000米ドルの支払いで徴兵を免除できる。エ

ジプトでは18歳から30歳の男性に義務兵役が課されており、兵役後9年間は予備役となる。徴兵年齢の男性は兵役を完了するか免除されなければパスポートの取得が禁止されており出国できないため、徴兵年齢の国外在住者は出国制限を恐れて帰国を避けるケースがあった。この制度は、国外に住むエジプト人からの要請と政府の外貨備蓄のために2023年に導入された。

さらに、国民に兵役義務はあるものの、兵役の代わりに他の非軍事的な国家への奉仕を選択できる国もある。スイスでは国民に3つの選択肢があり、短期兵役を長期間繰り返すこと、長期兵役に1回参加すること、そして兵役より長期間、医療や福祉、環境保護などの分野の社会奉仕に携わることの中から国民が選択する。

【メディア研究機関 GNV サイトより】

〔徴兵制の歴史 近代国家の成立と徴兵制～なぜ兵役を課されたのか〕

近代の国民国家と徴兵制は切り離せない関係にある。国民国家ができたから徴兵制が生まれたとも言えるし、徴兵制があったから国民国家が成立したとも考えられる。国民国家とは国民一人ひとりが支える国家であり、その支えの一つに兵士となって祖国を命がけで守り抜くことが含まれるからだ。

一般に、国民国家は18世紀のフランス革命によって誕生したとされ、近代の徴兵制もフランス革命以降にできた。為政者たちは愛国の熱情を鼓吹し、大勢の国民がこれに応じて戦場へ向かう。この図式が一般的になったのが近代だ。

徴兵制の普及には小銃の発達も大きかった。馬を乗りまわし、重い武器を使う専門的な訓練が必要なくなり、集めた多くの歩兵に銃を持たせ号令通りに動くよう訓練すれば戦争に勝てるようになった。

第1次世界大戦はいわゆる総力戦となり、とにかく多くの兵士を集めて武器を持たせることが必要になった。陸戦では機関銃や大砲が発達し、戦車や飛行機も登場したが、歩兵が要らなくなったわけではない。互いに撃ち合い、最終的に敵の陣地や都市を攻め落とすには大勢の歩兵が必要だ。

徴兵制軍隊にとって「公平性」と、何のために戦うのかという「大義名分」は重要だ。徴兵制は人々の自由を厳しく制限するにもかかわらず、「あなたは軍隊に入らなくてもいい」となると本人や家族の不公平感が募り、国が分裂してしまう。

日本軍は明治初期から1945年の敗戦まで、徴兵制に固執した。明治維新の目的自体が強い軍隊を作って国力を高め、欧米列強に対抗できる国にすることだった。

戦争の目的、大義名分が明確でないまま国民の義務として嫌々軍隊に入れられても、兵士たちのモラルは低下し、罪を犯すこともある。ウクライナ戦争でも大義名分のないロシア兵の士気は低く、ウクライナ兵にとっては祖国防衛で士気は高いと言われた。

軍隊には献身の対象という意味でのイデオロギーが必要だが、日本軍はそれをすべて「天皇陛下のため」で押し切ろうとした。しかし戦後、日本国憲法は軍隊の保持を認めず、代わりに必要最小限の自衛権行使を名目として自衛隊が設置された。徴兵制は「意に反する苦役」であるから違憲というのが政府解釈となった。【4/6 朝日新聞より抜粋】

少子化が進み、自衛隊員の定員不足が問題となってきた今日、果たしてどんな方向を辿るのが大いに気になります。

また一つ、地域経済に打撃が…ファミリーマートさとう、自己破産 昨年12月に閉鎖した大間店を含めると140名の従業員

地元の名物スーパーとして鮮魚や総菜でファンの多かった「さとファミ」が3日、自己破産準備で閉店しました。

むつ公共職業安定所は翌4日、元従業員を対象に雇用保険の受給手続きに関する説明会を同安定所で開きました。

説明会は同日、3回に分けて行われ計69人が出席。今後、雇用の受け入れを申し出た企業があれば、同安定所は元従業員に説明会等を開くとのこと。

冷え込む経済環境は市民はもとより元従業員にとって厳しい新年度のスタートとなってしまいました。



ファミリーマートさとう（むつ） 自己破産へ、負債8.8億円

帝国データバンク青森支店、大間町に1店舗を展開していた。老人福祉施設や小中学校などへの卸売りも行った。12年3月期には約30億2千万円の売上高を計上し、事後処理を網野精一弁護士ら（東京）に一任、自己破産申請の準備に入った。負債は調査中で、2024年3月期決算時点では約8億8千万円。市によると、90人程度が雇用されている。

1970年9月に創業し、84年12月に法人化。鮮魚や青果、精肉を主力とし、「ファミリーマートさとう」の店舗名でむつ市に2店の店舗名でむつ市に2店「昨日も普通に買い物をして

だが、同業他社やほかの小売店の出店で競争が激化し、近年は赤字が続いた。24年12月には大間店を閉店し立て直しの模索したが、資金繰りが限界に達した。店舗入り口には3日午後、事業停止を知らせる告示書が掲示された。突然の閉店に、毎日のように買い物に来ていた70代女性は「昨日も普通に買い物をして

たのでびっくり。魚などが新鮮で、ほかのスーパーより安く助かっていた。本当に残念」と肩を落とした。山本知也市長は取材に「ハローワークなどと連携し、働いている人が困らないように支援していく」と述べた。

同社が破産申請の準備に入ったことを受け、むつ商工会議所は金融・経営相談を受け付ける特別相談窓口を設置した。

問い合わせは同窓口へ電話0175（22）22832へ。

4/4 デーリー東北

むつ病院新病棟に続き今度は新設高校構想も入札不調

昨年来、地域住民の意思を無視して進められた市内の高校の統合事業についても入札業者が無く宙に浮いた形になりました。これだけ国策に協力した自治体のなれの果てです。どれだけ私たちの地域が軽んじ続けられなければならないのでしょうか。

下北地区統合校入札中止 改築工事、参加希望なく

2027年4月の開校を目指す青森県立大湊、むつ工業2高校の下北地区統合校について、青森県は21日、改築工事の一般競争入札の参加希望者が期限までに現れなかったため、入札を中止したと明らかにした。風張知子教育長は取材に対し、「子どもたちのことを第一に考えなければいけない。地元の方々の意見を聞いて、何が一番いいのか考えていく」と述べ、速やかに今後の対応策を検討し、関係者に情報を提供していく考えを示した。（加藤弘也、佐藤航）

27年春開校に危機感

統合校はむつ工業敷地に建築予定。県報によると、

た。

同日、県庁で開かれた県総合教育会議で、前むつ市長の宮下宗一郎知事は、統合を巡ってこれまで進められてきた地元での議論に触れ、「27年の開校が大前提。実現できなければ子どもたちが行く高校がなくなる」と指摘。「統合を白紙に戻せとは言わないが、どのような形で責任を果たしているのか、県教委として早急に結論を出してほしい」と要望した。

むつ市の山本知也市長は取材に「統合校開設が延期されるといっているのであれば、27年度の統合校入学を希望していた子どもたちは、目標を失い、途方に暮れることになる」と危機感を示し、市や市教委、市民に対して説明会を開催して情報を共有するよう求めた。

県財産管理課によると、入札参加に必要な資格を有することを示す申請書類と技術提案書の提出締め切りは13日までだったが、どこからも提出がなかった。

入札参加に必要な資格を有することを示す申請書類と技術提案書の提出締め切りは13日までだったが、どこからも提出がなかった。

入札参加に必要な資格を有することを示す申請書類と技術提案書の提出締め切りは13日までだったが、どこからも提出がなかった。

下北ゆかりの世界的偉人、会津藩出身で陸軍大将として義和団事件などで名をはせた柴五郎のむつ市における苦難の日々を紹介します～「ウィークしもきた誌」に連載された鳴海健太郎氏による『下北史点描』から転載しました。



中公新書に「ある明治人の記録」というのがある。これは柴五郎の実録そのものではない。作家の石光真人が編述したものだった。

私は四十年ほど前に、五郎の苦渋の記録を入手したので幾つかの史実を挙げてみたい。

まず旧盛岡藩領に新藩「斗南」が成立したことに触れている。

「明治三年五月の半ば、準備成りて新領地に移る。佐幕の南部藩より陸奥国二戸・三戸・北の三郡を割き、これを旧会津藩に与えたものにて斗南藩と名付く」。

五郎が斗南藩名の由来について「北海道以南各藩領ありといえども、ことごとく天子の領土なれば“北斗以南皆帝州”に称す。今回北遷さるるも天皇の領地より追放されたるにあらずとの意なり」。

しかし、武士社会は天皇を意識していたとしても下北の民衆は天皇の存在は知らず將軍を意識するだけだった。会津藩主肥後守（容保）は赦免となり、陸奥に三万石を下賜され、ようやく藩の再生・存続が認められた。

けれども士族を養うには困難を極め、行く所を自由とせざるを得なかった。

「会津に帰るもの二百十戸、農商に帰するもの五百戸、江戸その他に分散するもの三百戸、北海道に赴けるもの二百戸、陸奥の新領地に移封さるもの二千八百戸となれり」。

五郎の父佐多蔵（二百八十石）は、江戸から北上する前に自害した肉親の墓へ弔いのために単身会津に帰った。五郎は「太一郎兄とともに二百余名の同行者と汐留（新橋）よりハシケにて品川沖に至り、八百トンばかりのアメリカ蒸気船に乗船せり。

この船は外輪船にて速力おそく船室暗く狭くして乗客鮎詰めなり。余（五郎）はこの甲板にて初めて西洋人・中国人を見たり」。

野辺地湊に着岸したのは明治三年の半ば過ぎだった。柴家は野辺地の呉服屋島谷清五郎の一室に止宿。後に海中寺（浄土宗）へ寄留。父佐多蔵も会津からここへ到着した。柴一家は九月、野辺地から田

「父上、太一郎兄、兄嫁、余（五郎）は、ときおり駄馬の背に乗り、有戸の浜を経て六里ばかりの横浜村に一泊、往来に道なき海辺の波打際に沿いて進む」。

今のはまなすラインを通行したのではない。陸奥湾に沿って旧田名部街道を北上したのである。柴家が「田名部にては地元の富商山本敬三の好意により、その知人坂本という商家にとりあえず宿泊し、のちに向町の工藤林蔵の空き家を借用して自炊す」。柴一族が落野沢で生計を立てる以前は田名部町内の民家で多かれ少なかれ世話になっていたのである。

従って斗南藩の歴史は、下北の民衆と士族たちを同居させて筆をすすめなければならない。

斗南藩は明治三年の秋ごろから翌年の夏にかけて、糧米に窮迫していた。斗南藩の御用達を青森商人伊東（滝屋）善五郎と指定している。けれども三万石とは名のみで七千石程度だったという。

ところが食料のことで意外な事件が発生してしまった。「…協議の末、太一郎兄使者となりて函館に渡り、デンマルク領事ブリキストンより精米を購入す。しかるに仲介者たる貿易商人－米倉某なる男、斗南藩よりの支払金を横領し逃亡せり」。

デンマルク領事は藩政府を相手取り賠償を請求せるため、太一郎兄は迷惑の藩に及びを恐れ、自ら責任を取り、おのれの仕業なりと主張す。しかるに領事は藩の責任



柴五郎一家居住跡（むつ市運動公園テニスコート北側） 案内看板

なりとして訴訟せるため、太一郎兄捕われて東京に護送さる。」

結果的に斗南藩が莫大な賠償金を免れた。ただし気の毒なことに、兄太一郎の嫁すみ子が結婚早々横領事件のあおりで七年間の歳月を引き離されてしまった。よって五郎と父佐多蔵とすみ子の三人暮らしを余儀なくされた。

斗南藩時代の士族たちは一日大人玄米三合、子供二合と錢二百文（二錢）が支給されている。

ここで五郎一家の田名部向町の生活について次のように述べている。「父上（佐多蔵）は習え覚えたる網結（あみすき）その他の手細工をされ、兄嫁は毎日朝より夜に至るまで授産所にて機織（はたおり）して工錢を稼ぐ。」

薪は晩秋拾い集め枯葉を使いたるも足らず積雪の中を探し求む。炭には焚火の消炭を用い、行火（あんか）には炭団（たんどん）を作るに苦心せり、売品を購う錢の余裕は全くなし」。

柴家の食生活については尚詳しい。「玄米を近所の家のお臼にて軽く搗きたるに、大豆、馬鈴薯などを加え薄き粥を作る。白き飯、白粥など思いもよらず、馬鈴薯など欠乏すれば、海岸に流れつきたる昆布・若布など集め干し、これを棒にて叩き、木屑のごとく細片となして、これを粥に炊く。

方言にてオシメ（押布）と称し、これにて飢餓をしのぐ由なり。色茶褐色にして臭気あり。はなはだ不味なり。」

オシメとは、下北の備荒食であった。続いて、「蕨の根を集めて砕き、水にさらして幾たびもすすぐうち、水の底に澱粉を沈むなり。これに米糠をまぜ塩を加え団子と

なし、串にさし火に焙りて喰う。不味なり。」

さらに「毎日犬の肉を喰らう。（中略）主食不足の補いなれば、無理して喰らえどもついに咽喉につかえ通らず。」

佐多蔵は五郎に「ここは戦場なるぞ、会津の国辱を雪（そそ）ぐまでは戦場なるぞ」と言ったという。斗南士族の飢餓をあなたはど

う思うか？？

斗南藩時代－下北という空間の中で飢餓生活は何をもたらしただろうか。

明治三年斗南藩の総取締である権大参事山川浩（大蔵）がおから（豆腐粕・下北方言でキラズ）事件」を起こしてしまった。柴五郎の実録は次のようである。

「（斗南）藩政府は官所と称せる旧南部代官所（田名部）に置き、山川浩（大蔵）これを統轄す、月給わずか三兩なり。苦しきため豆腐屋に特約し、豆腐粕はすべて権大参事が買うこととし他に売らしめず。このこと次第に多数の知るところとなり、代表行きてその不法を責め、中止させたることあり」。これは藩の最高責任者として醜態をさらしたことにほならないか。士族たちは主食足りず常食はオシメ粥か稗粥・栗餅に稗汁であったといわれている。明治四年となると、柴五郎一族は田名部の富商山本敬蔵の斡旋を得て落野沢（むつ市総合グラウンドのテニスコートの山手）にあった新田初五郎の一軒家の一部を借り仮寓とした。

五郎は、次のように記した。「落野沢には新田初五郎の一軒とそれより五十間ほど隔たりたる低き川辺に分家の一軒あるのみなり、

（中略）障子・襖など一切なく、便所は屋外にあり、納屋に「埋めたる木造りの大桶の上に、あやしげなる二枚の板を渡したるばかりの危険なるものなり。

夜の灯火は大炉の焚火の照りと松の油根のみにて灯油などなし。風呂に入る習慣なし…」。

下北方言では、便所の大桶をコガといい、尻を拭くのに落の葉、冬にはへぎ板を用いた。

五郎がすぐ上の兄五三郎のことにも触れている。「留守居の兄嫁（柴太一郎の妻）と、同じ屋根の下に寝るは失礼なり言いて、一丁ばかり離れたる林中の吞香（どんこう）稲荷の小堂を、おのれの仮小屋として起居す。寒夜敷くべき褥（しきもの）なく、被るべき夜着なく、炉なくして暖をとる所なし。俵・蓆（むしろ）などにくるまりて寝る。」

五郎は兄嫁すみ子をすごく気の毒に思った。「世が世なれば、深窓にありて華道・茶道・琴・歌作などに心まかせてあらんものを、今は破れたる衣服繕ろう布切もなく、髪を整うる油もなし。父上（佐多蔵）も余（五郎）も義姉すみ子も、面やつれ蓬髪乱れ、オシメ粥すする。まことに顧みて乞食の一家なり。」

その後、「希望抱きてはるばる来つるものを今になりて嘆き怒りても甲斐なし。ただひたすらに堪えぬくばかりなり」と書きとめている。会津戦争の敗者となり、斗南藩士族たちの衣食住の生活は、下北の大地に凝縮されて残った。下北の地域史は、その後遺症を引きずっていることを知るべきである。

陸軍大将・柴五郎の市民ミュージカル上演

柴五郎（1860～1945 年）を題材にしたむつ市民ミュージカル『世界を一つに～柴五郎の生涯～』が昨年 10 月 20 日、下北文化会館で上演された。「劇団七色」が、後に陸軍大将まで上り詰めた柴五郎の物語を生き生きと表現し、観客約 650 人を魅了しました。

